

対話交流会セミナー（日本応用数理学会ものづくり研究会共催）の開催

3月8日（金）に日本応用数理学会ものづくり研究会様との共催で、対話交流会セミナーを開催いたしました。今回のセミナーは、数年ぶりとなります対面開催で行われましたので、人数制限の関係から、会員限定での開催となりました。今回のセミナーテーマは「シミュレーションへのAI技術の活用とChatGPTの最前線」でした。参加者は、56名（産応協側33名、ものづくり研究会側23名）でした。久しぶりの対面セミナーで、講演終了後に開催された講師の方々と総合討論会、そして希望者による懇親会とそれぞれ大変な活況でした。

《プログラム》

- AI・データサイエンスを活用した大規模シミュレーションの高速化
東京大学地震研究所計算地球科学研究センター 市村 強教授
- 深層学習と物理シミュレーションの融合による都市街区微気象のリアルタイム予測
東京工業大学学術国際情報センター 大西 領教授
- 生成AIが生み出す社会問題：フェイク、ポット、LLM
東京工業大学環境・社会理工学院 笹原和俊重教授
- ChatGPTとそのテクノロジー，生成系AIの全貌
人工知能コンソーシアムAIリビングラボWGリーダー 杉山邦洋氏
- 講師の方々と総合討論会

2023年度第2回産応協スクールの開催

3月13日（水）に2023年度第2回産応協スクールがWebEXによるWebセミナー&オンライン実習の形式で開催されました。当日の参加者は、15名（WGメンバー3名を含む）でした。今回のテーマは、「最適化・設計探査」でシーメンス様のご協力を頂き、前半を講演、後半は設計探査ツール”HEEDS”を用いた実習でした。今回も豊富な活用事例を使った講義と演習で、大変分かり易いものとなりました。

HPC技術ロードマップ全体WGの開催

3月22日（金）にHPC技術ロードマップ全体WGがリモート開催されました。当日の出席者は、委員15名、事務局4名（2名事務局支援）の計19名でした。今回の全体WGでは、各SWGより提出された第二版の改訂内容について再度チェックをおこないました。今後は全体の体裁等の調整を行った上で、5月に開催予定の運営委員会に成果として諮り、承認されれば公開となります。また、今後のHPCロードマップWGの在り方についても意見交換が行われました。その結果、今回の改訂において、相当大幅な更新をかけており、今後ロードマップ自体の改訂は、数年に一度実施することになり、改訂を行わない年度については、WGとしては技術情報の収集を中心に活動を続けていくことになりました。

第62回コミュニティ委員会の開催

3月25日（月）に第62回コミュニティ委員会が対面とWebEXによるリモートのハイブリッドで開催されました。当日の出席者は、委員10名、事務局2名の計12名でした。今回の委員会では、2023年度活動の総括と、2024年度活動計画について意見交換が行われました。今回の打合せ結果に基づき、5月開催予定の運営委員会での報告内容が決定いたします。また、委員長よりHPC技術ロードマップWGの成果を基にした2024年度の活動テーマ案について説明があり、質疑が行われた。活動テーマ案については、HPC技術ロードマップWGの最終成果物をもう一度査読した上で次回の委員会において決定することになりました。

第71回企画委員会の開催

3月28日（木）に第71回企画委員会がWebEXによるリモート形式で開催されました。当日の出席者は、委員12名、陪席4名、事務局1名の計17名でした。今回の委員会では、HPC技術ロードマップWG、施策提言WG、コミュニティ活動、HPCIコンソーシアムの活動状況が報告され、意見交換を行った他、5月に対面で開催される運営委員会の開催方法について意見交換が行われました。運営委員会も対面開催は数年ぶりで、その間に委員の交替等もあったため、事前に開催方法等を確認しておく必要があります。当日の議案、資料の確認は、4月の企画委員会で行われる予定です。

以上

<p>【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】 住所：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門第一ビル 6階 電話：080-6906-5461 E-Mail：icscp_office@icscp.jp 担当：中川，滝口</p>

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員、準会員、登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

